ゴールドの輝きに劣らない コク深さを感じさせるブロンズ仕上げ

本田 太一（本誌編集）

先日、スポーツの国際大会（アジア大会でしたっけ）を見ていると堂々優勝を成し遂げた選手（種目は定かではないがおそらく走り幅跳びだった、とうっすらと記憶している）が記者会見に臨み、金メダルを片手にこう語った。「この一番きれいな色のメダルが目標でした（涙）」。

また数年前（アテネよりも前）のオリンピックで惜しくも優勝を逃した競泳選手が「めっちゃ悔しいですぅー、金が良かったですぅー。めっちゃ悔……（続く）」と絶叫していたのも印象深い。

まあこれだけでは、何とも言い難いが、世の中の人はよほど金色が好きで、たまらないようだ。（本当か!?）

さてそんなことを考えていて思い出したのが、イタリアを代表するデザイナーであるジュリアーノ・マッツォーリが生み出した「マノメトロ」の限定モデル「マノメトロ・チタニウム・リミテッド・エディション」である。イタリアらしい強い個性を感じさせるケースにはチタンを採用し、その表面にはマット仕上げのブロンズ加工が施される。腕時計ではあまり見ることのないブロンズ・カラーはゴールドには劣らない、また一味違った深みを感じさせ、落ち着いた雰囲気だ。また年月が経つにつれ、ブロンズならではの風合いも増し、さらに異なる表情を見せてくれるのかは、まだ定かではないが楽しみのひとつである。

さておき、たまには金メダル片手に「本当はブロンズの渋さが好きなんだけど、まあゴールドで我慢しますよ」くらいのことを言ってのけるニクイ奴が現れても個人的には面白いと思うのである。

「マノメトロ・チタニウム・リミテッド・エディション」。
自動巻き（Cal.ETA2924-2）。毎時2万8800振動。
パワーリザーブ約42時間。
チタニウムにブロンズ・コーティングを施したケース（直径45.2×厚さ14.8㎜）。リザード・ストラップ。
サファイアガラス。ねじ込みリュウズ。5気圧防水。
365個限定生産。6時位置にシリアルナンバー入り。
価格65万1000円
問ノーブル スタイリング ☎03-5775-1866

[GIULIANO MAZZUOLI]
MANOMETRO TITANIUM LIMITED EDITION